

白山市社会福祉法人連絡会だより

創刊号（2025）



白山市社会福祉法人連絡会の皆様におかれましては、日頃より地域福祉の増進にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

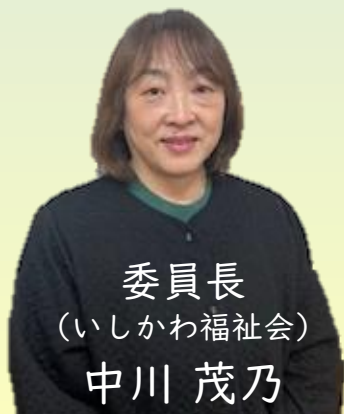
市では、「健康で笑顔あふれる元氣都市 白山」の実現を目指し、様々な取り組みを進める中で、社会福祉法人の皆様の果たす役割は市民生活を支える上で極めて重要であります。

貴会が掲げる地域福祉の増進に寄与されるという目的が、着実に達成されますことを念願いたしますとともに、市民一人ひとりが安心して暮らせる白山市を共に創ってまいりたいと考えておりますのでご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご活躍を心より祈念いたします。ごあいさついたします。

白山市長

田村 敏和



委員長
(いしかわ福祉会)
中川 茂乃

白山市は平成三〇年に国連が定める「SDGs 未来都市」として石川県で最初に選ばれました。

そんなSDGs先駆けの都市として「出来る事からはじめよう！」という思いを胸に、現在22の社会福祉法人が3つのワーキンググループに分かれて主体的に楽しみながら公益的な活動に取り組んでいます。

現在は『環境問題』に着目し「フードドライブ」や規格外野菜販売を主に行っていますが、これからも、会員法人の皆さまと連携しながら活動の幅を広げ、地域の活性化に寄与していきたいと思っております。

白山市社会福祉法人連絡会では、

「地域ニーズに対して公益的な活動に取り組み、福祉の増進に寄与する」
ことを目的にさまざまな活動を行っています。

公益事業報告会



公開講座では、株式会社マルエーの小賀誠氏により
「マルエーが考える社会貢献のかたち」
と題したご講演をいただきました。

車イスの操作方法を説明



次世代を担う子どもたちへ
「地域共生社会」実現の一環として
車イスの操作方法を説明しました。

SDGs ワーキングチーム

発足当時、世代間交流と家計サポート、フードロスを軸として、会員施設で規格外野菜などの販売などを行ってきました。しかし、現状は規格外野菜が入手困難でなかなか広がりを見せません。よって、新年度からは野菜だけではなく、古着や制服、未使用の紙パンツなど、破棄する前の一工夫で、ゴミを減らし必要なところに行き届くような活動も展開していけたらと考えています。

監事
中川 昌訓

フードドライブ ワーキングチーム

皆様のご協力のおかげで、令和6年度中に受け付けました食料品は合計772点で305.2kgになりました。集まりました食料品は白山市内の各こども食堂に配布し、有効活用して頂きました。来年度もフードドライブを開催してまいりますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。また集まりました食料品の結果報告につきましては、「白山市社会福祉法人連絡会」のInstagramで都度結果報告しておりますのでご確認お願いいたします。

副委員長
中村 陽一

情報発信・PR ワーキングチーム

令和6年度の取り組みでは、Instagramの掲載（13件、令和7年3月7日現在）、この広報誌の発行を行いました。広報誌発行にあたり、会員の皆様にも沢山のご協力をいただきました。来年度はさらにInstagramの掲載回数を増やし、私たちの活動を広くいろいろな方に知っていただけるよう活動させていただきたいと思っています。目指すはフォロワー1000人です！

インスタやってます！
下記のQRコードをチェック

副委員長
茅山 朋子

【参画法人（五十音順）】

- ◆ あいの郷
- ◆ あおぞら福祉会
- ◆ いしかわ福祉会
- ◆ 加賀福祉会
- ◆ 笠間宮保福祉会
- ◆ 久楽会
- ◆ 金城福祉会
- ◆ 郷福祉会
- ◆ 鶴来愛環会
- ◆ 鶴来会
- ◆ 出城福祉会
- ◆ 手取会
- ◆ 篤豊会
- ◆ 鳥越福祉会
- ◆ 白山市社会福祉協議会
- ◆ ひびき

- ◆ 福志会松任
- ◆ 福寿会
- ◆ 佛子園
- ◆ Flower
- ◆ 松の実福祉会
- ◆ 若宮福祉会



白山市社会福祉法人連絡会

〒924-0865 白山市倉光八丁目16番地1
白山市社会福祉協議会内